



## 原 点

理事長 島 しづ子

一緒に歩いて下さっている友人の1人が「島先生は人に恵まれていますね。」と言って下さいました。あらためて、皆様との出会いに感謝している次第です。中でも、私の人生を変えたジャン・パニエさんとの出会いは衝撃的でした。1987年6月、当時愛光園の園長だった広瀬治代先生に連れられて、私と娘の陽子（養護学校小学部2年）は神戸で行われたパニエさんの研修会に参加しました。彼は初来日でしたが、欧米の教会や福祉の世界では有名人で、広瀬先生も以前からご存知だったようです。娘・陽子が1歳3ヶ月の時、百日咳の後遺症で重度の障がいを持ちましたが、福祉業界の事は何も知らないで研修会に参加しました。

全国から大勢の参加者がいました。当時名古屋教会の牧師だった戸口伊助牧師も参加されました。さふらん会の創設に、ラルシュ・ホームの理念も影響を与えたと思います。後に日本でラルシュ・ホーム第1号になった、かなの家の創立者・佐藤仁彦さんもいました。その時の写真には島田恵子さんも映っています。島田さんはイギリス、フィリピンのラルシュ・ホームのアシスタントとして働き、今は東京・静岡・名古屋・神戸・千葉などを回りながら、ラルシュを日指すグループと共に歩いて下さっています。愛実の会には毎月来訪、アシスタントの成長のためのプログラムに尽力下さっています。

その時のパニエさんの話は本にもなり、感動的なお話でした。私は、同時にパニエさんの振舞に驚きました。当時、私は教会の牧師を辞し、障がい児の娘と生きる道を模索中でした。夕方、1人で庭に出たとき、彼が反対側から出てきました。彼は私の前に来て、さっと手を伸ばしました。思わずその手を握り、彼の眼を見た時に、「この人は私の苦悩、悔しさを知っている」と思いました。言葉は費りませんでした。

やがて研修会の終わりごろ、責任者が私たち親子のところに来て「陽子さんに仕事をして頂きたい」と言いました。身の回りのことは何もできないし、意思表示もままならない、重度の障がいを持つ娘に与えられた仕事は、皆を代表してパニエさんにお礼のプレゼントを渡すことでした。

その夕べ、渡されたプレゼントを車椅子に座る娘の膝に置き、輪の中央に出ました。パニエさんも出てきて、娘の膝からプレゼントを取り、もう一方の手で陽子の手を握りました。娘はニコニコと笑いました。2人が握手して微笑みを交わしている姿は皆を感動させました。そしてパニエさんの姿からこういう声が聞こえました。「陽子さん、一生懸命生きて来ましたね。私はあなたを尊敬していますよ。神様もあなたを大事に思っていますからね。」

「尊敬」それは私が求めてきた事でした。尊敬される為にはいい仕事をし、認められ、娘の障がいを軽くする、そんな努力も無に帰し、ばかにされたような視線に甘んじるしかない、とっていました。しかし、このままの私たちを理解し、大事にしてくれる人がいる。それ以来、相手を押しのけ、踏み台にするような生き方はしたくないと思ってきました。不思議な出会いから福祉をすることになった私の原点は、「相手を尊敬する、大事に接する」ことです。多様な考えの人と一緒に歩むということは綺麗ごとだけではありませんが、共同生活の知恵に満ちたパニエさんの著作や生き方に助けられながら、歩いていきます。ありがたい出会いでした。

## ◆防災訓練を実施しました◆

以前から防災会議を重ね、地震、津波への対応を検討してきました。そこで今回実際に地震が起き、その後大津波警報が発令したとの想定で避難訓練を実施しました。当初、大津波警報が出た際に避難する場所は隣のマンションと考えていました。しかしメンバー達を抱えて階段を何段も上がることができるかどうかという不安もあり、他の避難場所を検討したところ、施設から400メートルほど離れたGサイトさん（パチンコ店）が快く承諾してくださり、消防の方の確認の元、避難場所候補として考えていくようになりました。そして、今回Gサイトさんの営業がお休みの日に、メンバー、アシスタント総勢40名にて立体駐車場をお借りした避難訓練をとり行う事となりました。

手順としては、①緊急地震速報発令 ②地震による揺れ ③大津波警報の発令 ④避難開始の流れで進行し、各自防災用品を身にまとい慎重に避難経路を確認しながら避難場所まで移動。現地では、車いすを押し立てて立体駐車場の坂を上られるか、電動車いすでの操作が可能か、人手がどのくらい必要かなどを確認しながらスロープを1階から2階まで上がる訓練を行いました。

結果は駐車場のスロープの角度もそれほどきつくなく、少人数の手で十分安全に上がることができ、これなら何とか避難できるという事を実感することができました。



ただし、実際に地震が起こった際は避難経路上の障害物や液状化の可能性、また多くの車が行き来しパニック状態になりとても危険な状況が予想されます。今回の訓練で日頃からの訓練がとても重要だという事を身にしみて感じることができました。また新たにあらがった不安要素を一つひとつ整理し、今後訓練を繰り返す事により、アシスタントは的確な情報収集、冷静な判断力、行動力を身につけ、いざという時に対応できるようにしていきたいと思えます。



## 2013年度第1回 定期総会報告

2013年4月より障害者自立支援法から「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」＝自立を目指すのではなく基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい生活を目指し、障害の有無にかかわらず一人ひとりの人格と個性を尊重して安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とした「障害者総合支援法」に改められました。今回の法改正によって今までと何が変わって行くのか？ 私たち愛実の会が理念に掲げた地域社会に開かれた施設としても、その役割を再考していく1年となるよう努めてまいります。

### ★ 事業報告

生活介護事業(利用者31名)を中心に居宅介護及び移動支援そして緊急時対応の独自サービスを実施して来ました。生活介護では3部門(愛実友だちの家・大地の家・紙風船)で家庭的な雰囲気大切に笑顔いっぱい、楽しい日中活動の場となっています。会報以外でも各ブログにてそれぞれ紹介をしていますので是非ご覧ください。

現在の法人職員総数41名一介護アシスタントをはじめ送迎・給食・事務・清掃等、多くのスタッフによって成り立っていますが、介護スタッフは手いっぱい、現在パート3名を募集中です。居宅事業の課題も人材不足にあり、新たなニーズへの対応が困難な状況にあります。独自サービスについては、昨年度19件ありました。緊急時につきましては出来る限りの対応を配慮しています。

### ★ 2012年度会計報告

決算報告では一昨年度の赤字から、高めの目標を立てましたが予算を上回る収益となり、移転事業(2010年度3月)からの借入金も昨年度670万円を無事返済することが出来ました。(借入金残高2,800万円) 尚、決算書につきまして、従来の収支計算書から活動計算書へ変更となっています。会計監査を受け、右のとおりご報告させていただきました。

また、下記の総会議案はすべて滞りなく審議され承認されました。

愛実の会 正会員数51名(2013年5月25日現在)

議案Ⅰ 2012年度事業報告(決算及び監査報告)

- ① 法人概況 ② 生活介護(愛実友だちの家・大地の家・紙風船)
- ③ 居宅介護 ④ 各管理部門(健康・給食・車両・防火防災・ホームページ・会報)

議案Ⅱ 2013年度事業計画及び予算案

議案Ⅲ 定款変更の件

「障害者自立支援法」から「障害者総合支援法」の法改正に伴う文言の変更。

## 2012年度 NPO法人愛実の会 決算報告(活動計算書)

平成24年4月1日～平成25年3月31日まで

科目	金額		単位:円
<b>I 経常収益</b>			
1. 正会員受取会費	148,000	148,000	
2. 受取寄附金	5,235,585	5,235,585	
3. 受取助成金	53,140	53,140	
4. 事業収益			
1)生活介護事業収益	111,323,587		
生活介護事業収益	108,179,222		
食事収益	2,679,495		
就労支援事業収益	464,870		
2)居宅介護事業収益	4,737,351		
3)移動支援事業収益	116,800		
4)独自サービス事業収益	37,500	116,215,238	
5. その他収益			
受取利息	6,771		
雑収益	691,949	698,720	
経常収益計			122,350,683
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1)人件費	79,435,106		
(2)その他経費			
諸謝金	903,000		
印刷製本費	218,610		
会議費	74,841		
旅費交通費	3,154,396		
通信運搬費	330,475		
水道光熱費	1,704,829		
賃借料	6,124,546		
減価償却費	6,538,865		
保険料	1,535,292		
事務消耗品費	1,521,525		
リース料	1,748,565		
給食費	2,585,819		
教養娯楽費	1,250,695		
就労支援事業費	593,963		
その他事業費	5,131,157		
雑費	13,332		
その他経費計	33,429,910		
事業費計		112,865,016	
2. 管理費			
(1)人件費	2,620,000		
(2)その他経費	1,493,198		
管理費計		4,113,198	
経常費用計			116,978,214
当期経常増減額			5,372,469
税引前当期正味財産増減額			5,372,469
法人税、住民税及び事業税			68,500
当期正味財産増減額			5,303,969
前期繰越正味財産額			35,498,735
次期繰越正味財産額			40,802,704



# 愛実友だちの家のページ

(P5~6)

## 2013年度の活動をいくつか紹介します♪

### 園芸



昨年度はオクラやミニキャロットなどを育てて収穫し、味覚を刺激していましたが、今年は嗅覚を刺激しようということで、ラベンダーやにおいグラジオラスなど”香り”を楽しめる草花を中心に育ててい

ます♪ 地中深く埋めた球根も一週間しないうちに芽が出ていて、植物の生命力にビックリ。花が咲い

にんげんがっき

### あみともバンド



「にんげんがっき」という玩具を使い、メンバー自身の身体を楽器にして楽しみながら音を奏でます。お互いが玩具を持ちながら身体に触れると音が鳴るという不思議な仕組みにメンバーは興味津々。タイミング良く触れる、というのが難しくまだぎこちない音しか出せていないのですが、いつか素敵な演奏をお披露目出来たらなあと思います。

### おもちゃを作ろう&遊ぼう



外に出ることが難しい日でも、お部屋で楽しく過ごせるおもちゃを作ろう、ということで始まった企画。第一作としてメンバーと一緒に牛乳パック鉄砲を作りました。ひもを引っ張って離すだけ、という簡単な動作で遊べるのですが、力加減が意外と難しいんです。一球ごとにいろいろと試行錯誤して、得点をゲットしたときの喜びはひとしお。得点の書かれた的もメンバーの手作りです。

### デコパージュ



デコパージュとはフランス語で切り抜く、切り裂くという意味。ケマージュという専用の接着剤を使うと、絵柄の入った紙を布や石鹸などに定着&コーティングさせることが出来、手軽にオリジナルグッズが作れちゃうんです。いろいろな物が作れそうな予感に期待大のこの活動、まずはナイロンのエコバッグにペーパーナプキンの切り紙をデコパージュし母の日のプレゼントを作ることに。皺が出来ないように貼り付けるのは思った以上に難しく、苦戦しながらの作業でしたが、メンバーそれぞれがお母さんや日頃お世話になっている給食スタッフの方々を思い浮かべて心のこもった作品を仕上げていました。

今回紹介した活動以外に、以前からの活動も引き続き実施していきます。メンバーの大好きなリトミックや言語訓練士Mさんの活動、理事長Sさんの活動も続けていただけるとのこと。ゆったりペースでありながらも充実した毎日を過ごせるように、より一層努力していきたいと思ひます☆

## お花見しました

今年は桜の開花が早かったですね。あみともも少し予定を早め、4月の第一週をお花見ウィークに設定。ほぼ毎日いろいろな場所で桜を楽しんできました♪

お花見ウィーク初日、まずは車に乗り込み荒子川公園へ。荒子川の桜はまさに見頃を迎えていて、川を挟んである桜並木が圧巻でした。満開の桜にうっとりしながら、空を見上げたり、川を泳ぐカワウという鳥を眺めたり……まったりお散歩をすることが出来ました。

初日以降はおなじみご近所の木場中央公園でお花見を敢行。フリータイムにお散歩しながら開花の様子を見ているメンバーも多くいたため、普通に見るだけじゃつまらないよね、と桜の木の真下にシュラフを広げてお花見することに。メンバーたちにも車椅子から降りて、シュラフに寝そべったり座ったりしてもらいました。やわらかシュラフを敷いているとはいえ、木の根っこが結構ゴツゴツしていて気になるのか微妙な表情のメンバーもいましたが、空からはらはらと花びらが落ちてくる様子に風流を感じながら、ゆったりとした時間を過ごしました。また、別の日にはちょっと贅沢にコンビニスイーツを持ち込んでの宴会風ティータイムを実施♪ 少々「花より団子」状態になってしまったメンバーもいましたが、春の風物詩を楽しく美味しく満喫出来たかな？



## 祈りと風コンサート

5月14日、マゴソスクール支援チャリティーコンサートにみんなで行ってきました★マゴソスクールとは東アフリカ・ケニアの首都ナイロビにある80万人が住むといわれる巨大スラム・キペラにある寺子屋のことだそう。実際に演奏に来て下さったのも、マゴソスクール出身の方や支援者の方たちでした。パーカッションやマラカス、元気な掛け声が絶妙に組み合わさって奏でられる音はまさにパワフル。普段耳にする機会の少ないアフリカンミュージックに最初こそビックリした様子のメンバーたちでしたが、次第に体を動かしたり、声を出してみたりとノリノリになって楽しんでいました♪ 途中、演奏者のみなさんがステージから客席に下りてきて、メンバーの目の前で踊りを披露してくれたり、手を取って歌ってくれたり……中にはステージに上がって楽しんだお客さんもいた様子。演奏者と観客、という関係ではなく、会場の全員が一体となって音を楽しむ、というとても素敵なコンサートでした。



FC2ブログにてあみともの日常を写真いっぱい更新中★  
WEB拍手等での応援、いつもありがとうございます(^▽^)  
URL <http://amitomo07.blog.fc2.com/>



QRコード



# 大地の家のページ

(P7~8)

新年度初めての会報です！

今年ももうじき暑い夏がやってこようかという時期ですが、みなさん変わりなくお過ごしでしょうか？

大地の家では今年度もお出かけやイベント、企画などを多く予定しています。メンバーのみなさんも楽しみにしてくださいと嬉しいです！

アシスタント一同、より楽しい&充実した活動が行えるよう努力していきますので、今年度も「大地の家」をよろしくお願い致します♪

## 母の日&父の日

日頃からお世話になっているお母さん、お父さんに感謝の気持ちを伝える企画です。毎年、何を贈れば感謝を伝えられるだろうかとメンバー&アシスタントは頭を悩ませますが、今回は無事気持ちを伝えることはできたでしょうか・・・？

母の日には「デコパーシュ」とよばれる装飾技法を使ってエコバックを作りました。

繊細な作業に苦戦しましたが、一生懸命作りました♪

父の日には酒の肴にぴったり、「イカの一晩干し」です。作る工程で生イカの感触&臭いに少し顔をしかめましたが、味は絶品のハズ！！



4月9日(火) 名古屋市科学館

今年も名古屋市科学館へ行ってきました！目玉はやはり・・・「世界一のプラネタリウム」！しかも今回は大地の家のお隣部署「紙風船」のメンバーとも一緒に行ってきました。

プラネタリウムの予約した時間は午後1時50分。昼食をとった後は集合時間になるまで館内を自由に散策することになりました。科学館らしく電気や生命のしくみといったものをはじめ、「暑い部屋」「寒い部屋」の中に入ったり（段差があったのでメンバーは車椅子から降りて入りました！）、大迫力の竜巻ショーをみたり・・・。館内は広く、全てを見て回ることはできず、あっという間に集合する時間になってしまいました。

そしていよいよ星空観賞！世界一との呼び声通り、頭上に広がる数々の天体は、まるで本物の宇宙旅行に出ているような臨場感がありました。日本でも数の少ない「生ナレーション」による星空の説明はゆったりと優しい声で耳にも心地の良いものでした。少し周りが気になってしまうメンバーによっては「遮音室」という別室にて観賞です。この部屋は前面ガラス張りです。プラネタリウムの臨場感はそのままだけに周りの音やこちらからの音を遮音する特別室！周りを気にすることなく星空を楽しみました♪



## リトルワールド



梅雨空を大地の家が吹き飛ばしたかのような快晴の中、小牧にあるリトルワールドへお出かけです♪今回の目的は、開園30周年記念で6月末日まで開催されている野外サーカスを見ることでした。普段サーカスを見る機会など滅多になく、テンションの上がるメンバー&アシスタント。オスマン帝国（現在トルコ）をモチーフにしたダンスや曲芸は、なんだかエキゾチックな気分させてくれました。途中、綺麗な女性のアーティストの方が壇上に上がると、男性メンバー（もちろん男性アシスタントも）の目がハートマークになっていたような・・・。

サーカスも終わり、昼食を食べると、いよいよプチ世界旅行に徒歩で出発！日本の代表的な家屋から始まり、韓国、中国、インドネシア、ドイツ、フランス、トルコなどなど20数カ国を回りました。

建物の中を覗いてみたり、展示してあるお面を被ってみたり、フランス館ではジュースやアイスクリームで優雅なティータイムを満喫しました。

1周2、5キロの距離でいえば長くない道のりでしたが、アップダウンの比較的激しい園内は車椅子を押しながらの散策は少し大変でした。

そして梅雨空どこ吹く風のこの日は、逆に熱中症を警戒しなくてはいけない程でした。こまめな休憩と水分補給、そして紫外線から守るために日陰を歩いたり・・・。

最後には全員で記念撮影。広場にある外国の車を囲んで笑顔でパシャリ！楽しい一日を過ごしました♪

## 2013年 クラブ活動



前年度の4つのクラブ活動を今年度はさらに発展させ、曜日毎にメンバー&アシスタントを振り分けた少人数制の活動を展開しています。メンバーの個性や特徴をふまえた上で、活動を各曜日担当のアシスタントがそれぞれに考え、実践中です！

たとえば、お散歩の好きな金曜クラブは外へ出て、車椅子から降りてみたり。女性ばかりの火曜クラブは女子会と称して喫茶店でお茶をしてみたり。もちろん他の曜日のクラブもそれぞれ楽しい活動を行っていますよ！（詳しくはブログで）

メンバー全員が一斉に満足できる活動はなくても、少ない人数のグループの中で楽しく活動を行って欲しいとの願いで産まれたものが、この少人数制の「クラブ活動」でした。今はまだ、メンバーひとりひとりのやりたいことや望むこと、楽しめることを探している途中です。

拙い場面もあるかと思いますが、これからもみんなで楽しめる大地の家を目指して頑張っていきます！みなさまもご協力のほどを宜しくお願いをしますとともに、一緒に楽しみましょう♪

日々の活動の様子など随時更新中です♪  
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

# 紙風船のページ

(P9~12)

今年度のテーマは

「笑顔つながり みんながハッピー！知ってもらおう 地域へGO！」

これまで紙風船では、人形劇を通して、たくさんの人たちが笑顔になってくれる事を願い活動を続けてきました。

2013年度は、さらに一步踏み出して、まだまだ知られていない紙風船の存在を少しでも多くの人に知ってもらいたいという思いから、地域のイベントなどにも積極的に顔を出し、紙風船を広めていく事を目標にしています。

どこかで皆さまにお会いできることを楽しみにしています(\*^\_^\*)



2013年度も紙風船をよろしくお祈いします



初演決定！

## 作品「ポーちゃん」のリメイク報告 パート3

昨年12月からスタートしたポーちゃんリメイクも、開始から半年がたとうとしています。道具や人形はおばらさん先生がとっても可愛く素敵に仕上げてください、いよいよ本格的に動きをいれた稽古が始まりました。

実は、今回のポーちゃんはどの曜日にも対応できるように、トリプルキャストでの人形劇に挑戦をしています。そのため火曜、水曜、木曜ごとで配役が入れ変わり、練習もなかなか思う様に進まないのが現状です。同じ作品を3つのパターンで演じることは初の試みなので、慌ただしい練習が日々続いています。おぼつかないアシスタントの介添えも、メンバーの役作りも練習を重ねる事で、少しずつ良くなってきていることも実感しています。

8月の北なごやパベットフェスタが初演となります！どのキャストで行くかは今後のでき次第！みんな気合いを入れて頑張っています！みなさんに楽しんでいただける作品に全力で仕上げたいと思いますので、応援よろしくお祈いします！



## チャリティーウォークソン！ in モリコロパーク

去る5月19日（日）米国商工会議所主催のチャリティーウォークソンに参加しました。「宣伝するぞ！」と意気込んでの参加。当日は風がとても強く、みんなチラシを吹き飛ばされそうになりながらも、すれ違う人すれ違う人に、紙風船の事を伝え頑張って宣伝を行いました。外国の方もたくさんいましたが、言葉は通じなくても積極的に声をかけていくメンバーの姿をみて、とても頼もしく感じました。

また途中立ち止まって生演奏で「風を下さい」を歌ったり、並んでカンパの呼び掛けも行いました。中には紙風船の事を知ってくださっている方や、他団体の情報誌にチラシを掲載してくださると声をかけてくださった方もみえ、とても嬉しかったです。すでにまたぜひ来年も参加したいなという声も上がり、紙風船の恒例行事になりそうです（\*^\_^\*）



## レクリエーション 初の釣り体験

6月12日（水）北区にある釣り堀大岡園、そして昼食&ショッピングを兼ねて名古屋空港に隣接するエアポートウォークへ出掛けてきました。メンバーにとっては釣り体験が初めての人がほとんどで、水槽に落ちてしまうのではないかとちょっぴり不安な気持ちのメンバーもいました。到着した釣り堀は大きな所ではありませんでしたが、貸切状態！説明を受け、いざ釣りスタート！ただ残念なことに釣り堀の壁が高く、メンバーの車椅子の目線からは水面が見えず…。ツンツンと動くうきをアシスタントが注意深く見ながらメンバーへ実況中継するような感じで始まりました。すると、5分も経たないうちにそれ1匹、それ2匹と釣れていきます。中盤からは車椅子から立って釣りをするメンバーも！どんどん釣るメンバー、苦戦するメンバー様々でしたが、全員1匹ずつは釣ることができてホッ。人生初めての釣りは楽しさ、悔しさいろんな気持ちを感じる事のできた体験でした。



### ☆お知らせ☆

紙風船で以前働いてくれていた矢野良太さんと新渡戸優さんがご結婚されました☆  
先日、紙風船に二人を招いてささやかですが、みんなでお祝いの会を開催！  
いつも紙風船を見守ってくれてありがとう！  
これからもよろしくお願いします！末永くお幸せに♪



## <メンバーの思い>

### 「紙風船と出会って」

戸谷 真也

改めまして、こんにちは。紙風船メンバーの戸谷真也です。紙風船に通うようになってから、あっという間の1年2カ月でした。僕が初めて紙風船と出会ったのは小学生の頃、人形劇「モコちゃん」を観たのが最初です。僕はその後も「ポーちゃん」などを観ていたので、ずっと前から紙風船の事を知っていました。紙風船は人形劇をやってるみんなが明るくていいなあと思っていました。そして中学生の時に港養護学校の先生が「将来は紙風船に入ってみないか？」と進めてくれた事が、紙風船に入りたいと思うきっかけになりました。

絶対入れると思っていたなかった紙風船に入れると分かった時はやったあ！と思いました。もしもあの時先生が声をかけてくれていなかったら、今僕は紙風船にいなかったかもしれません。

僕は、「ポンタとたっくん」のゴンザレス（たぬき）役で初めて舞台に立ちました。人形が動かせるかなあと緊張でいっぱいだったけど、お客さんから「よかったよ！」と言ってもらえる人形劇をできる紙風船はすごいなと改めて思いました。今は「ポーちゃん」のさる役としても人形劇に参加しています。役者としてお仕事できることが嬉しいです。これからも人形劇を長く続けていけるといいなと思っています。よろしくお願いします。

## <協力者の思い>

### 「出 会 い」

石川 裕右

私が紙風船と出会い1年が経ちました。私は、いままでに色々な仕事を経験してきました。小学校から新聞配達、中学は中華料理、卒業して建築（鳶、土木、左官、電気）、コンビニ、劇団といろいろ転々としてきました。私には家庭の事情で、母親代わりにしてくれたのが母方の祖母がいました。祖母は自分の子どものように、私のことを可愛がってくれました。そんな祖母は私が東京で劇団に6年いる間に「裕右に会いたい」と最後に話し亡くなりました。祖母の死に目にも会うこともできず、なにも恩返しできないまま、亡くなってしまったことが今でも心に残っています。そして、これが私の介護職に就く原点となりました。

劇団も上手く行かず名古屋に帰り、職業安定所へ仕事を探しにいきました。職業安定所の方がとても親身に話を聴いてくれ、私に介護の仕事を詳しく教えて下さり「貴方はとてもいいものを持っている。笑顔を大切に」と介護の仕事に就けるよう応援をしてくれました。これも私の大切な出会いだと思っています。今は、愛実の会の方々と出会い、仕事も丁寧に教えて下さり、今では介護の仕事にやりがいを感じています。とても感謝しています。これからも出会いを大切にして、またメンバー、アシスタントと力を合わせ、一步一步前へ進みたいと思います。宜しくお願いします。

## 【公演だより】

- 第157回 2013年 3月23日(土) ハバママハウス招待公演「かめさんのありがとう」  
紙風船デイルームにて
- 第158回 2013年 3月26日(火) 大高南学童保育 春休み公演「かめさんのありがとう」
- 第159回 2013年 6月15日(土) 相和福社会 ISO（国際標準化機構）大会  
「かめさんのありがとう」 大府市勤労文化会館にて
- 第160回 2013年 6月21日(金) たんぽぽふれあい公演  
「ぼくたちにできること」 紙風船デイルームにて
- 第161回 2013年 7月23日(火) 江南市立宮田東保育園 お楽しみ会  
「かめさんのありがとう」
- 第162回 2013年 7月27日(土) 夏休みふれあい公演（自主公演）  
「ポンタとたっくん」 & 「かめさんのありがとう」紙風船デイルームにて



昨年度は、21回の公演を行う事ができました。

そして今年度の公演も、6月よりスタート！

相和福社会様の公演では、人形劇に出ないメンバーも挨拶を担当し自分たちで紙風船をアピールしました。

たんぽぽふれあい公演では、人形劇の他に歌とオリジナル川柳の発表もし、一体感のある暖かい公演になりました。

今年度は公演の時に、自分たちの想いや紙風船の事を知ってもらふ事にも力を入れてやっていきたいと思っています。

そして、8月にはリメイクしたポーちゃん完成も目指しています！

みんなで今年度も楽しく公演を頑張っていきます☆

応援よろしくお願いします！



たんぽぽふれあい公演

### ◆公演予定◆

2013年 8月24日(土) 北なごやパベットフェスタ 「ポーちゃん」

9月 5日(木) 豊明市からだけ保育園 「かめさんのありがとう」

9月20日(金) 新瑞イオン ひまわり横丁2周年イベントに「ぼくたちにできること」

10月13日(日) ひまわりホールパベットフェスティバル 「ポーちゃん」

※詳しくはホームページまで



## 紙風船夢づくり基金のお願い

いつも「紙風船夢づくり基金」へのご支援ありがとうございます。

今回作品「ポーちゃん」をリメイクしていくにあたり、古くなった人形の補修や道具等の制作に50万円程の費用が必要となります。私たちの活動にご賛同いただける方はぜひご協力をよろしくお願いいたします。なお、お手数おかけしますが、振り込みの際は「紙風船夢づくり」と一言明記をお願いいたします。

# 「もつこと」と「あること」

南 寿 樹

「先生、算数の宿題やりたくない。だって難しすぎるもん」雄太（小4）が訴えに来た。

（えっ？難しい？授業ではできたのに…）私は信じられない気持ちでいっぱいになった。

学生時代には塾の講師をはじめ家庭教師で延べ20人の子を教え、評価も受けてきたので教え方には自信がある。しかし「僕もわからなかった」と昭夫も言い、さらに「算数の授業が分からないからいやだ」と他の教師に相談する子も出てきて私の自信は一気に崩れた。

（なぜ？）・・・初めは自分を守ること（自己防衛）で精いっぱい。子ども側に原因があるのだろうと「もしかしたら子どもたちは、学習障害ではないか？」と同僚に相談する始末。もちろん心の中のもう一人の自分はそんな馬鹿げた仮説が成り立たないことなどわかっている。でもどうしたらいいのかわからない。——悩んだ日々の果てにわかったことは、指導内容や指導方法のレベルのことではなく、それ以前のまさに根本的なことであった。

『わかり方の探求』佐伯胖（小学館）に「その子どもの現在の『様子』をあれやこれやの形容詞で特徴づけることをあくまで拒否して、その子どもの内側から、そのように『なっている』ことを、自らがそう『なっていく』こととして体験しなおしてみよう」とある。

自分なりに言えば、その子に自分の身を置き換えて考えてみようということだ。

思い当たることがあった。

例えば、「計算のくふう」で  $25 \times 12$  を簡単にするために  $25 \times 4 = 100$  を使って、 $25 \times 12 = (25 \times 4) \times 3 = 100 \times 3 = 300$  とする場合、自分なら当たり前に分かることでも子どもの内側の世界に入ってみると違っていた。雄太が言う。「どうして4なのかがさっぱりわからん」それに対し「25mプールを4往復すると100mだろ」と私。「わかったような、わからんような」と昭夫。子どもの内側の世界では  $25 \times ( )$  の  $( )$  の数字を4で割るような計算をなぜするのが理解できないのだ。（ではどうすれば…）

そこで画用紙に直径12センチの円を描き、それをピザを切るように内角90°の扇形に4等分し、そこに25という数字を書いたものを36枚作った。「では、 $25 \times 12$  をカードを使ってやってみよう」子どもたちは机の上に12枚のカードを並べる。「うまく組み合わせてごらん。円はいくつできるかな？」目の前に直径12センチの円が3つできる。「わかった。4つ集まるひとつの円が100だから300」「なんで4つかやっとわかった」

「To have or to be」とエーリッヒ・フロム（精神分析医）は「人間の欲求には〈持つ様式〉（所有欲）と〈ある様式〉（共にいる欲）の二つがある」と言う。自分はいこれまでの経験や学習を所有物として**持つこと**を守ろうとし、子どもを支配しようとしていたようだ。佐伯胖氏の言葉に出会って「子どもたちと共に**あること**。ときには自分を変えてまで」の大切さに気づいた。フロムは「私たちが生きている社会は財産を取得し利益をあげること（**持つこと**）に専念しているので、**ある**という存在様式のあかしは滅多に見られない」とも言う。——自分は、「子どもたちと苦楽を共にする**存在でありたい**」と強く思う。

【NPO愛実の会 寄付者名（順不同・敬称略）

2013年3月15日～6月30日】

## ★寄付金

川口尊生 楠本啓子 足立克己 真木芳子 間瀬滝子 奥山喜正 三浦定代  
 江崎敬子 大淵柁也 町田玲子 比企敦子 藤掛朔生 牛口ヒサ 伊藤久子  
 佐藤全弘 小島真一 加藤和子 水野亨好 伊藤啓子 渡部千枝 佐藤雅美  
 武井陽一 森山昭雄 疇地優美 島しづ子 見木靖美 小西直人 風間文子  
 伊藤和子 木村淑江 前田栄子 右村典子 湯元睦美 今井謙吾 橋詰四郎  
 鶴崎祥子 岩崎武男 中森由哉（複数回） 中森照子（複数回） 木村純  
 橋口洋 上野嶺 島一郎 河村比佐子 伊藤あつこ 早川久美子 梅津ヨシ子  
 佐々木伸夫 宇田ゆき子 中村弥栄子 佐藤千萬子 加藤由美子 榎本久美江  
 蔵知浩 三浦豪 桂正枝 津田加代子 吉岡満智子 川口いづみ 松下智恵子  
 福井清 井上誠 岩田妙 河内常男・宣子 藤井哲夫・幸子 黛八郎・ナオミ  
 森豊 市原信太郎・誉子 シルバーサービス憩いの江・西口和代 金城学院  
 西尾教会婦人会 愛知教会女性の会 中京教会

## ★紙風船

木村圭吾 中森照子 中森由哉 酒井淳子 大島英穂 宮原祐子 成田秀子  
 佐藤雅美 数原陽子 小嶋俊則 齊藤充加 加藤陽子 鈴木純夫 伊藤和昭  
 田中正文 田中孝子 大坂晴一 石井昌也 鈴木好美 鈴木福枝 戸田真二  
 町田玲子 山内正美 永井猛 上野嶺 吉見よね子 森豊 森永富貴子  
 木村由美子 長谷川耕司 成瀬絵里子 川口いづみ 村瀬きよ子 鈴木百合子  
 シルバーサービス憩いの江・西口和代

## ★物品寄付

今井裕子

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分（順不同・敬称略）】

岡崎教会子どもの教会 みどりファミリー喫茶 刈谷教会CS  
 古谷尚之（複数回）

【ボランティアで協力いただいた方】

ルーテル復活教会様（給食ボランティア）

ご協力ありがとうございました。



## 寄付金のお願い 目標400万円

\* 移転改装費 借入金残額2800万円 年600万円×5年で完済予定です。自助努力しておりますが、どうぞご協力ください。移転して4年が経ちました。広い空間でそれぞれのデイが特色を生かしながら笑顔いっぱい楽しく毎日をごしています。

\* マンツーマン体制の充実を目指して

愛実の会の大きな特色として、メンバーとアシスタントが1対1で向き合い、寄り添いながら手厚いケアと充実した活動を実践していることが挙げられます。これは重度の障がいを持つひとりひとりのメンバーを大切に、心の声を聴き共に歩んでいくために必要と考えます。

\* 人形劇団紙風船の夢づくりのために（50万円）

昨年度は福祉施設へのボランティアを含め20回を超える公演を行いました。ただ今「ポーちゃん」をリメイクし、練習を行っています。8月完成を予定していますので応援ください。

今後とも引き続きご協力をお願い申し上げます。

### ●お知らせ●

- ・今まで年4回発行していた会報ですが、今年度から年3回（7月・11月・3月）の発行となります。これからもギュッと詰まった内容でお送りしたいと思っております。
- ・寄付金振込用紙を夏号・冬号に同封させていただきます。「紙風船夢作り」へのご寄付は、お手数ですが通信欄に「紙風船夢作り」とご記入くださいますよう、お願いいたします。（記載がない場合は「寄付金」として取り扱わせていただきます。）

### 【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

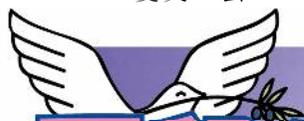
- 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）
- 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24  
 TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889  
 E-mail info@aminokai.com  
 ホームページ http://www.aminokai.com

### 【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替  座番号 00850-6-187490  
 座名称 特定非営利活動法人 愛実の会  1,000円  何口でも結構です

- ◆ 寄付金（奨助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形制作費、公演活動に関する費用とする）



沢 知恵 平和を求めるコンサート

# 平和を求める祈りと祭典

평화를 위한 기도와 제전 / Prayer and Festival of Peace



## 沢 知恵 さん (さわ・ともえ) プロフィール

シンガーソングライター。コモエスタ、ともえ基金代表。  
1971年神奈川県生まれ。父は日本人、母は韓国人。祖父は『朝鮮詩集』(岩波文庫)の金素雲。日本、韓国、アメリカで育ち、3歳からピアノを弾く。1991年東京芸術大学音楽学部楽理科在学中に歌手デビュー。  
東京下北沢で季節公演を行うほか、2001年から瀬戸内海のハンセン病療養所大島青松園で無料コンサートをつづけている。

## 【プログラム】

+ 開会礼拝

+ お話とコンサート

アメイジング・グレイス  
こころ  
黒人霊歌  
人生の贈り物 (CM曲)  
故郷の春~故郷メドレー  
ありのままの私を愛して他  
※当日変更の可能性あり

+ 私たちの平和の祈り



※どなたでも自由にご参加いただけます。  
※活動支援のための自由献金の時間があります。  
※韓国語同時通訳があります。한국어 동시 통역이 있습니다.

「平和を求める祈りと祭典」も8年目を迎えるに至りました。  
今年はシンガーソングライター、沢知恵(さわ・ともえ)さんをお迎えし、「沢知恵 平和を求めるコンサート」として行います。

領土をめぐる隣の国々との緊張関係、朝鮮学校の無償化除外、新入管法など、最近のこの国は、だれもが差別されずに共に生きる社会とは、反対の方向に進もうとしているように見えます。

このような状況から、今年は日本、韓国、アメリカで生活した経験のある沢さんをお招きすることとなりました。この機会に、宗教、民族、政治的な立場を超えて平和を求める私たちが一人でも多く集められることを願います。

国籍や教派の異なる者、様々な背景を持つ者が集められて、「わたしはここに居てよいのだ」と安心して生きることのできる「平和」をを求める祈りと祭典を、ご一緒作っていきましょう。

「いかに美しいことか

山々を歩き巡り、良い知らせを伝える者の足は。  
彼は平和を告げ、恵みの良い知らせを伝え  
救いを告げ  
あなたの神は王となられた、と  
シオンに向かって呼ばれる。  
その声に、あなたの見張りは声をあげ  
皆共に、喜び歌う。」イザヤ書 52:7-8

【と き】  
**8/11** 2013 (日) 15:00より  
【と ころ】  
在日大韓基督教会名古屋教会



名古屋駅を北へ徒歩5分  
ホテルサンルート右折  
〒450-0002  
名古屋市中村区名駅2-3-9-11  
TEL052-541-1980/FAX052-541-1982  
<http://www.kccj-nagoya.or.jp/>

